

大洲・八幡浜自動車道



○「新たな国土軸」として一層重要性が高まる九州と四国、本州をつなぐルート

九州と京阪神間の運転距離と移動時間

起点	本州ルート	四国ルート
大分	約651km 約7.8時間	約426km 約8.2時間
宮崎	約849km 約10.7時間	約573km 約10.4時間
鹿児島	約873km 約10.0時間	約725km 約12.2時間

※1 各県庁所在地から中国四国印まで。
※2 四国ルートの航路は「八幡浜港-白井港」。
移動時間はフェリー乗船時間(145分)を含む。

大洲・八幡浜自動車道

フェリー航路 3.6往復/日
・八幡浜-別府 6往復/日
・八幡浜-白井 1.4往復/日
・三崎-佐賀 1.6往復/日

※1:九州自動車道(北九州市~宮崎市)H28.4開通
※2:フェリー大型化対応岸壁(耐震)八幡浜R.4.4供用、白井港整備中
※3:中九州横断道路整備中

○地域産業の活性化、観光振興などを支援する「地方創生の道」

観光地がもっと近く、もっと身近に

県内観光客上位5位(令和元年)	利用者数	所在地
1 松山城ロープウェイ	133万人	松山市
2 道の駅「八幡浜みなと」	107万人	八幡浜市
3 道の温泉入浴客(本館・別館)	104万人	松山市
4 道の駅「天空の郷 さんさん」	102万人	久万高原町
5 マイントピア別子	66万人	新居浜市

八幡浜みなと

新フェリーターミナルビル
4,000㎡超の船客対応
新フェリーターミナルビル
船客大型化対応の新施設が完成

○大規模災害時の広域避難・緊急輸送の軸となる「命の道」

大規模災害への事前の備え、災害時の広域避難や緊急輸送の円滑化による安全・安心の確保

伊方発電所から半径10km 圏内人口約15,500人
伊方発電所から半径20km 圏内人口約55,300人

伊方町(伊方港) 最高津波水位:4.4m
八幡浜市(山之石漁港) 最高津波水位:9.1m

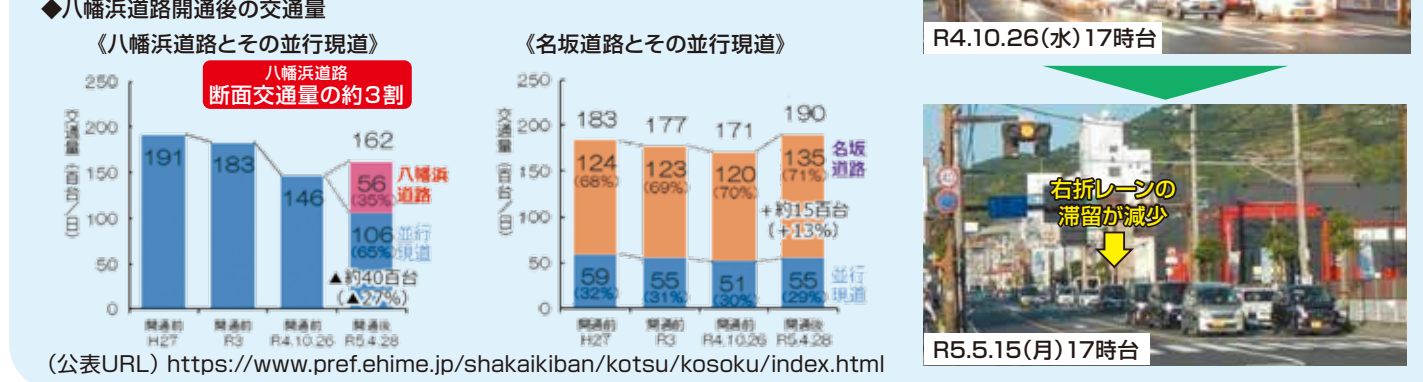
伊方町(伊方港) 最高津波水位:4.4m
八幡浜市(山之石漁港) 最高津波水位:9.1m

出典:愛媛県広域避難計画(令和3年6月修正)

令和5年3月25日 八幡浜道路開通

【八幡浜道路開通後の交通状況】※開通後1ヶ月後の状況

- 八幡浜道路の交通量は約5,600台/日。並行する現道と合わせた断面交通量の約3割を占める。
- 並行現道の交通量は開通前より2~3割、3~4千台/日減少。
- 八幡浜市内中心部の江戸岡交差点では、500mあった渋滞がなくなるなど、八幡浜道路開通により渋滞が大きく緩和。



◆夕方ピーク時の江戸岡交差点の状況



現場見学会などのイベントを随時開催しています。

大洲・八幡浜自動車道のくわしい事業内容や今後の最新情報などは、Instagram、Facebookまたはホームページをご覧ください。

八幡浜土木事務所Instagram <https://www.instagram.com/yawahamadoboku.ehime/>
大洲・八幡浜自動車道Facebook <https://www.facebook.com/bigeight.highway/>
愛媛県ホームページ「高速道路」 <https://www.pref.ehime.jp/shakaikiban/kotsu/kosoku/>

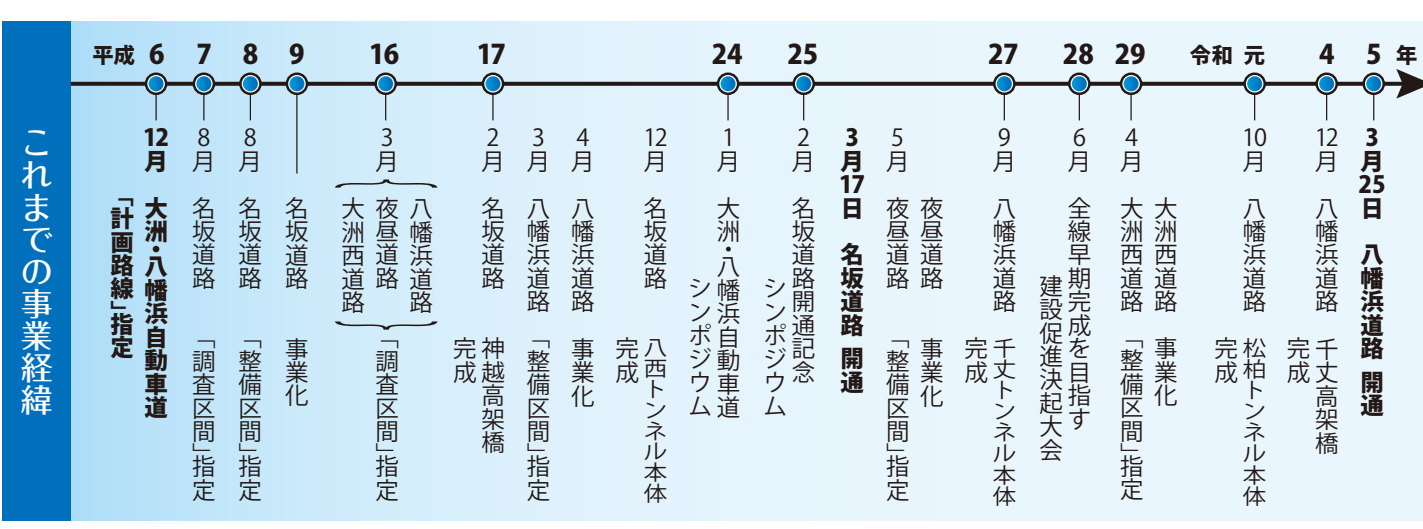


令和5年1月30日 現場見学会 (八幡浜市立白浜小学校)

令和5年1月25日 現場見学会 (八幡浜市立愛宕中学校)

令和5年3月18日 八幡浜道路開通記念イベント

令和5年3月25日 八幡浜道路開通式



愛媛県 まじめちゃん (まじめ課長)

土木部道路都市局道路建設課
〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2 TEL:089-941-2111(代表) / FAX:089-912-2719

南予地方局 八幡浜土木事務所
〒796-0048 愛媛県八幡浜市北浜1丁目3-37 TEL:0894-22-4111(代表) / FAX:0894-24-5305

令和5年7月作成 (Vol.5)

新時代の国土・地域づくりへの架け橋
~九州と四国、そして本州をつなぐ最後のピース~



大洲・八幡浜自動車道

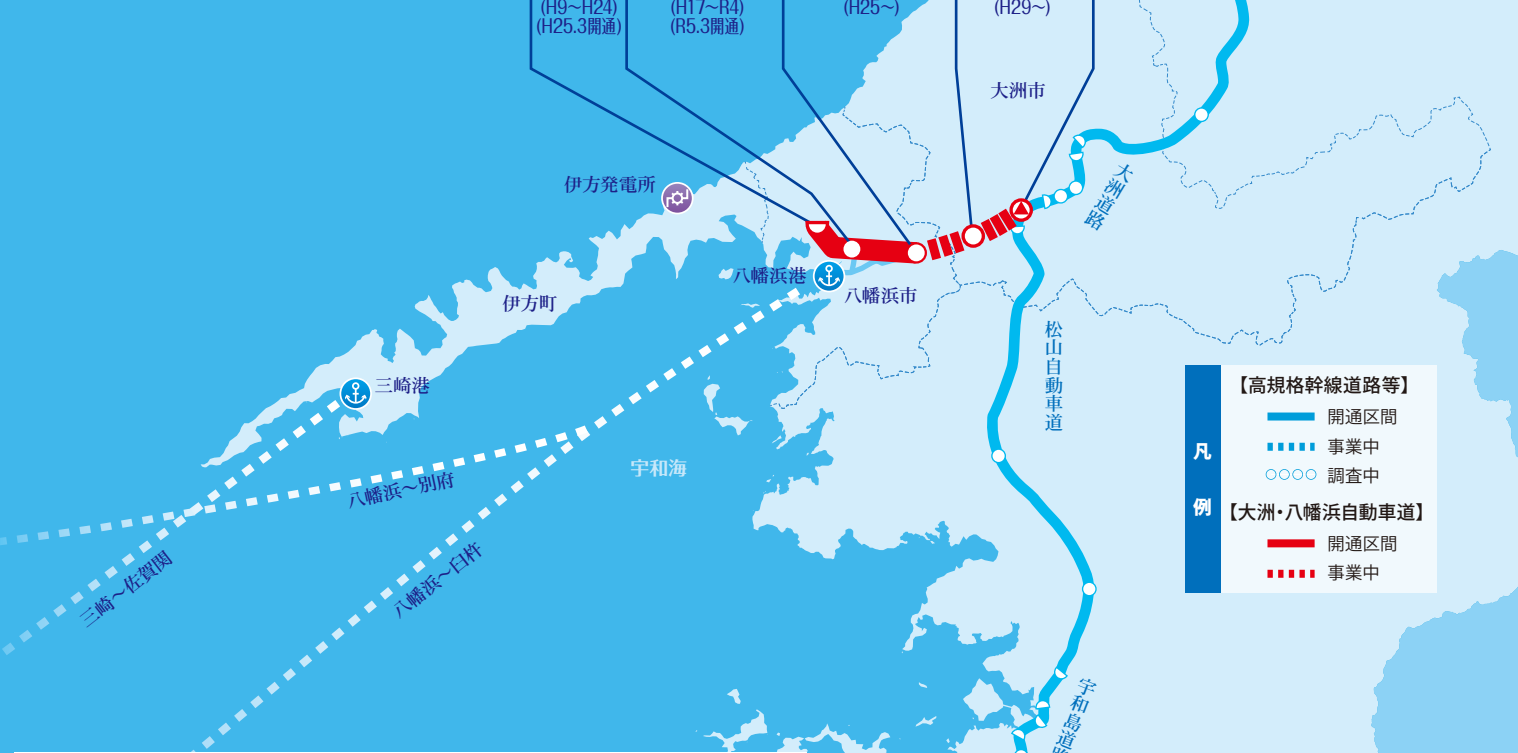
新時代の国土・地域づくりへの架け橋

大洲・八幡浜自動車道とは

・九州と四国、本州をつなぐ「新たな国土軸」の一翼
・地方創生の道 | 命の道

「大洲・八幡浜自動車道(約14km)」は、四国の西の玄関口である八西地域(愛媛県八幡浜市、伊方町)と大洲市を結び、四国8の字ネットワークに接続する自動車専用の高規格道路です。

本自動車道は、愛媛県に3つある高規格道路のミッシングリンクの一つで、平成9年度から、名坂道路(平成25年3月開通)、八幡浜道路(令和5年3月開通)、夜昼道路、大洲西道路の4つの工区に分けて整備を進めています。



《直面する課題と社会の変化》
課題 人口減少や少子高齢化の進行、大規模災害の切迫
社会の 物流の2024年問題、コロナ禍後の生活スタイルの変化、
変 化 デジタル化の進展、高規格道路網の発展

大洲・八幡浜自動車道

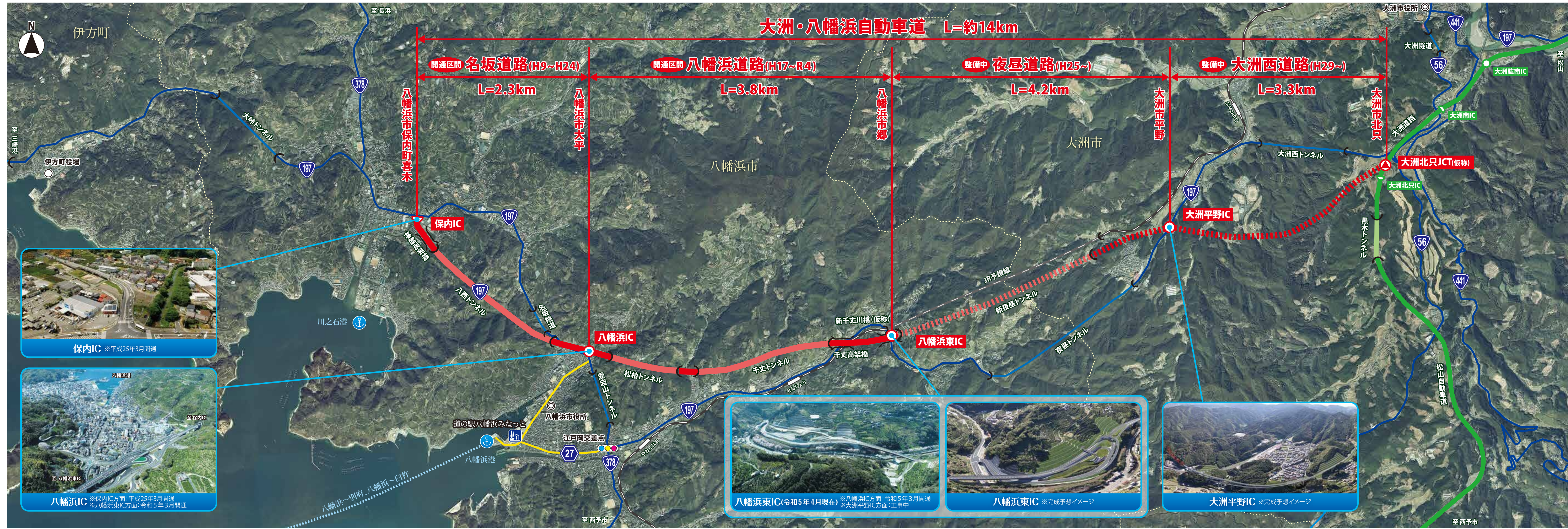
新たな国土軸 (国土構造の変革) × (地方創生の道 (成長・活力) + 命の道 (安全・安心))

国土の持続可能な発展
安心して住み続けられる地域の形成

持続可能な国土・地域づくりへの期待

フェリー航路を介して九州と四国、そして本州をつなぐ「新たな国土軸」の一翼を担うとともに、地域経済の活性化を支える「地方創生の道」、大規模災害発生時の「命の道」として、持続可能な国土・地域づくりに欠かせないことのできない極めて重要な道路です。





保内IC ※平成25年3月開通



八幡浜IC ※保内IC方面:平成25年3月開通
※八幡浜東IC方面:令和5年3月開通



八幡浜東IC(令和5年4月現在) ※八幡浜IC方面:令和5年3月開通
※大洲平野IC方面:工事中



大洲東IC ※完成予想イメージ



大洲平野IC ※完成予想イメージ

凡例

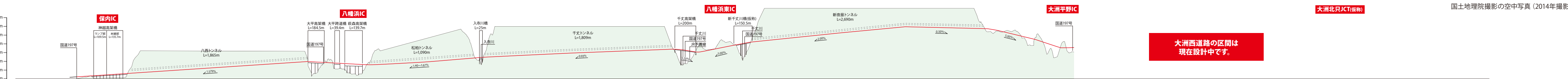
- 高規格幹線道路
- 国道
- 主要道路
- JR

【大洲・八幡浜自動車道】

- 開通区間
- 整備中

【縦断面図】

※全体構造を分かりやすくするため、縦横の比率を変更しています。



大洲西道路の区間は現在設計中です。

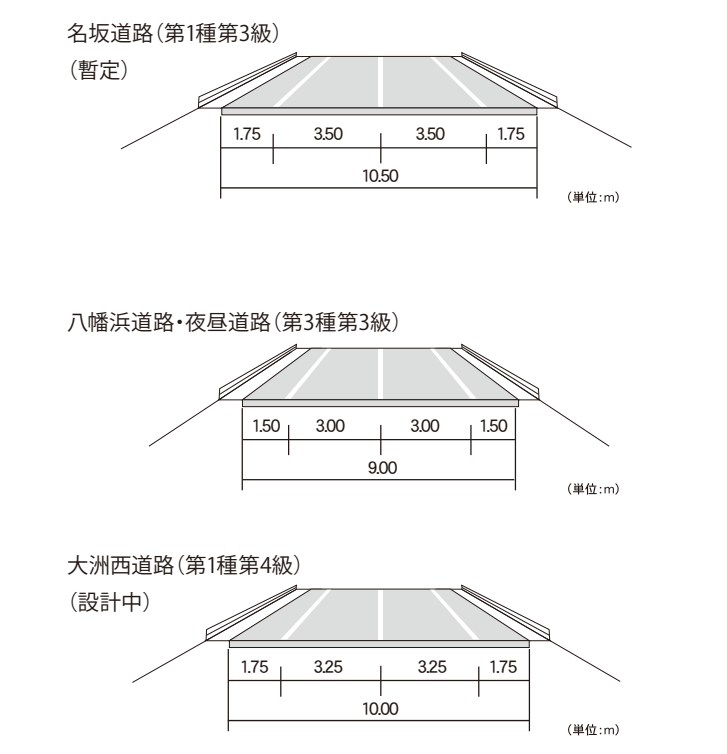
計画概要

区間	起点	愛媛県大洲市北只
	終点	愛媛県八幡浜市保内町喜木
延長		L=約14km
道路規格		名坂道路 第1種第3級 八幡浜道路・夜屋道路 第3種第3級 大洲西道路 第1種第4級 (自動車専用道路(無料))
設計速度		名坂道路 80km/h 八幡浜道路・夜屋道路・大洲西道路 60km/h

主要構造物

名坂道路	
■八西トンネル	延長: 1,865 m
■神越高架橋 5径間連続PC中空床版橋(本線部)/4径間連続PC中空床版橋(ランプ部)	延長: 245 m
八幡浜道路	
■千丈高架橋 鋼2径間連続鋼床版桁橋	延長: 200 m
■千丈トンネル	延長: 1,809 m
■松柏トンネル	延長: 1,090 m
夜屋道路	
■新夜屋トンネル	延長: 2,690 m
■新千丈川橋(仮称) 鋼3径間連続非合流少数桁橋	延長: 151 m

標準断面(一般部)



国土地理院撮影の空中写真(2014年撮影)